

# Social Empathy Index: A Psychometric Study and Group Comparisons among Japanese Medical Undergraduates

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2022-06-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 孫, 時妹 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002737">https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002737</a>

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2450 号

Social Empathy Index: A Psychometric Study and Group Comparisons among Japanese Medical Undergraduates

社会的共感指数日本語版の信頼性及び構成概念妥当性の検証：医学生を対象とした横断調査を用いた分析

孫 時姝（そん ししゅう）

博士（医学）

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、本邦の医学教育分野ではあまり知られていない社会的共感力を測定する尺度（social empathy index: SEI）日本語版の開発と、その信頼性や妥当性等の尺度特性を検証したもので、医療人育成において意義ある論文である。

共感力は、患者-医師関係に重要だけでなく、医師の職業満足度を高くし、燃えつきを防ぐと言われている。そのため、学生の共感力を高める教育が行われ、様々な尺度が共感力評価に用いられてきたが、多くの尺度は、感情や認知的共感を測定するにとどまっている。社会的共感力は、Segal et al. によって 2011 年に提唱されたもので、異なる文化や社会経済状況にある人々を理解し構造的不平等や格差について洞察する力を指す。それらを含め様々な要素を測定するのが社会的共感力尺度(SEI)である。

本研究では、Segel et al. が作成した社会的共感力測定尺度（social empathy index: SEI）の日本語版を開発して、私立大学医学部の 1、2、4 年生に横断的調査を実施して、その信頼性、妥当性等の尺度特性を検証している。SPSS 28.0 を用いた因子構造を明らかにするため探索的因子分析により、構成概念妥当性を示している。因子分析では「マクロ視点取得」「認知的共感」「感情制御」「感情反応」の 4 因子を認めた（いずれも eigenvalue >1）。これらの累積寄与率は 46.59%であった。各因子の  $\alpha$  係数は 0.66 から 0.92 であった。さらに既知グループ妥当性についても検討し、共感力に影響する既知の因子が SEI に影響するかを明らかにしており、社会的共感力測定尺度（social empathy index: SEI）日本語版の有用性を示している。

今後の医療者育成に重要な社会的共感力の教育を進めるにあたり、評価法の確立は教育に不可欠であり、社会的共感力尺度（SEI）日本語版開発の意義は大きい。

よって、本論文は博士（医学）の学位を授与するに値するものと判定した。